

認知症作業療法 活動報告（概要）

埼玉県作業療法士会では、地域支援の基盤強化を目指し、平成25年に当士会で発足した認知症地域支援推進部を中心に、多職種を対象とした認知症専門研修や地域支援の企画実践研修を継続的に実施。

認知症の人と家族の会との共催を最優先事項に掲げ、また当士会自らが立ち上げたカフェの継続、認知症専門研修受講者によるブラッシュアップなど発展的に地域支援をおこなっている。

認知症専門研修（初級・中級・上級コース）

平成26年度より認知症専門研修 初級・中級・上級コースを実施。昨年までに初級**527**名、中級**382**名、上級**152**名、合計**1061**名が修了、本年度は初級**A136**名、初級**B155**名、中級**59**名、上級**31**名が修了。新たな取り組みとして、初級コースでは協会アップデート研修を包含し、認知症の基礎知識およびリハビリテーションの概要について学べる内容とした。中級コースとともに他職種の参加も増加している。上級コースではグループワークにて地域支援の計画立案を行う。ほぼ一年がかりの企画となっており、昨年度はオレンジカフェの立ち上げ、市民講座、警察との高齢者運転講座などが実施できた。



認知症の人と家族の会との共催

県内4カ所での『若年のつどい』を中心に参加、昨年度は**89**名の会員が派遣された。その他『スポーツ大会』への参加や『本人ミーティング』『**RUN**伴イベント』では当士会会長率いる音楽隊と当事者の演奏を企画するなど、より強い協力関係を築いている。



オレンジカフェの実施

認知症専門研修地域実践研修において立ち上げたカフェへは継続的に参加、支援しており昨年度は274名の会員が派遣された。また、今年度の認知症専門研修受講者がブラッシュアップを現在企画中。

RUN伴共催

埼玉県作業療法士会も昨年より協賛団体となり、実行委員として運営に関与。本年は若手メンバーを中心に、新規ルートの開拓やゴールイベントの企画、認知症サポーター養成講座を行い、地域の施設や住民との交流をもつ機会となった。同時開催の県庁イベントでは音楽隊が演奏を行った。参加団体では最も多い約60名の県士会員が参加。



今後の展開（野望）

- ・カフェやつどいへの継続的な参加・ブラッシュアップ
- ・認知症フェス！・当事者との協働の企画
- ・認知症の人のみならず様々な方の居場所となる
「街の**OT**室」の開設

